

情報公開文書

作成日 2025年11月11日

1. 研究の名称

術前治療後に切除した膵癌症例の予後に関する多施設共同研究

2. 倫理審査と許可

京都大学大学院医学研究科・医学部及び医学部附属病院 医の倫理委員会の審査を受け、研究機関の長の許可を受けて実施しています。

3. 研究機関の名称・研究責任者の氏名

〈研究代表機関〉

京都大学大学院医学研究科 肝胆膵・移植外科 教授 波多野悦朗

〈共同研究機関〉

大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院 外科部長 増井俊彦

地方独立行政法人 京都市立病院機構 京都市立病院 総合外科副部長 奥田雄紀浩

金沢大学附属病院 肝胆膵・移植外科教授 八木真太郎

小倉記念病院 外科副院長 藤川貴久

滋賀県立総合病院 外科科長 山中健也

医学研究所北野病院 消化器外科副部長 井口公太

三菱京都病院 消化器外科医師 戸田怜

地方独立行政法人神戸市民病院機構神戸市立西神戸医療センター 消化器外科医長 吉野健史

日本赤十字社 大津赤十字病院 外科部副部長 北口和彦

京都桂病院 消化器センター・外科医長 笠井洋祐

大阪赤十字病院 消化器外科副院長 森章

神鋼記念病院 消化器外科医長 小松原隆司

福井赤十字病院 外科部長 土居幸司

大阪府済生会野江病院 消化器外科副部長 壺井邦彦

天理よろづ相談所病院 外科部長 待本貴文

兵庫県立尼崎総合医療センター 消化器外科部長 北村好史

日本赤十字社和歌山医療センター 消化器外科主任部長 安近健太郎

神戸市立医療センター中央市民病院 外科医長 成田匡大

静岡市立静岡病院 外科・消化器外科 科長 佐々木直也

藤田医科大学病院 総合消化器外科 教授 高原武志

4. 研究の目的・意義

本研究は、術前治療後根治切除が行われた膵癌症例の予後に寄与する因子を同定することを目的としています。本研究の結果は、今後の膵癌術前治療方針決定の一助となる可能性があります。

5. 研究実施期間

研究機関の長の実施許可日から2028年3月31日まで

6. 対象となる試料・情報の取得期間

京都大学医学部附属病院肝胆膵・移植外科および共同研究機関において、2013年1月1日から2022年9月30日までに根治手術が施行された膵癌患者さんのうち、術前治療を実施された患者さんです。本研究は、多施設共同研究「術前治療後に切除し病理学的完全奏効（pCR）であった膵癌症例における臨床病理学的意義の検討」（京都大学医の倫理委員会承認番号：R4523）の二次利用研究です。

7. 試料・情報の利用目的・利用方法

術前治療後に根治切除を実施された患者さんを臨床データや手術データを用い、膵癌切除後の予後に関する因子を、統計学的に同定します。

8. 利用または提供する試料・情報の項目
患者さんの背景・治療前情報、術前治療後・手術前情報、手術情報、病理学的情報、予後情報を利用します。本研究は二次利用研究ですので、新たに資料・情報を収集することはありません。
9. 利用または提供を開始する予定日
各研究機関の長の実施許可日以降に利用します。
10. 試料・情報の管理について責任を有する者の氏名または名称
京都大学大学院医学研究科 肝胆膵・移植外科 講師 長井和之
11. 研究対象者またはその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用または他の研究機関への提供を停止すること及びその方法

ご自身の試料・情報を研究に利用されたくない方は、連絡先までその旨お知らせ頂ければ、解析対象から削除します。
12. 他の研究対象者等の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内での研究に関する資料の入手・閲覧する方法

他の研究対象者等の個人情報及び知的財産に支障がない範囲で研究に関する資料の入手・閲覧が可能です。希望される方は、問合せ窓口までお知らせください。
13. 研究資金・利益相反
本研究に要する費用は、運営費交付金にて負担します。研究代表機関の研究者の利益相反については、京都大学利益相反ポリシー、京都大学利益相反マネジメント規程に従い、京都大学臨床研究利益相反審査委員会において適切に審査されています。共同研究機関においても各機関の規程に従い審査されています。
14. 研究対象者等からの相談への対応
 - 1) 研究課題ごとの相談窓口
京都大学大学院医学研究科 肝胆膵・移植外科 講師 長井和之
〒606-8507 京都府京都市聖護院川原町 54
TEL: 075-751-3242 FAX: 075-751-4263
E-mail: kaznagai@kuhp.kyoto-u.ac.jp
 - 2) 各研究機関における相談等窓口
大津赤十字病院 外科 北口和彦
TEL: 077-522-4131